

漢字を書くことが覚えにくいお子さん向けの漢字学習

文部科学省の調査では、通常学級に2.4%の割合で読み書きに苦勞しているお子さんがいると言われており、その中には特に漢字を書くことが覚えにくいお子さんがいます。そのようなお子さんには、従来の漢字を書き写す学習方法では覚えにくい原因があります。

筑波大学心理・発達教育相談室では、このような漢字を書くことが覚えにくいお子さんの特徴に合わせた漢字の学習方法についての研究を行っています。今回、iPad上で漢字学習アプリを使用し、お子さんの特徴に合わせた学習方法の効果を検証したいと思います。ご関心のある方はご連絡ください。

【参加対象者】①～③の条件を満たすお子さん

- ①小学生のお子さん
- ②知的な遅れがないお子さん
- ③漢字を読むよりも書くことが特に苦手なお子さん



【スケジュール】

2021年3月1日（研究倫理申請が通った日以降）～2022年3月31日の期間のうち、週に1回、1時間程度の個別的な支援を複数回実施します。

平日：15:00～16:00

土曜日：10:30～11:30／13:00～14:00／15:00～16:00

【その他】

- ・時間はおおよその目安です。
- ・体調不良の日はお休みいただき、振り替えます。



【担当相談員】

大西正二（作業療法士・認定作業療法士・筑波大学大学院博士後期課程）

飯塚朱里（筑波大学大学院博士後期課程）

熊谷恵子（臨床心理士、学校心理士 SV, 特別支援教育士 SV, 言語聴覚士）